

# 環境会計

環境に配慮した事業活動を進めるためのコスト、効果を定量的に把握し、着実に環境負荷を低減させています。



## 環境保全コスト

企業活動にともなう環境負荷を低減させる設備機器への投資、環境対応形商品の研究開発にともなう費用、環境情報の公開、地域活動への支援などの費用を環境保全コストとして集計・管理しています。2007年度は地球温暖化防止への取り組みとして、那須事業所に太陽光発電パネルを設置することによる環境整備に努めました。

(単位:百万円)

コスト分類	事業エリア内コスト 上・下流コスト	管理活動コスト	研究開発コスト	その他コスト	合計
活動の内容	公害防止 地球環境保全 資源循環	EMSの整備・運用 環境情報の開示・広告 社員への教育	環境保全に資する製品 研究開発	土壌調査・浄化 環境保全活動の地域支援 など	
2003年度	60.8	106.8	3.3	0.4	171.3
2004年度	55.0	24.9	10.7	0.9	91.6
2005年度	63.3	47.2	11.1	0.4	122.0
2006年度	57.9	101.2	7.8	18.3	185.2
2007年度	140.3	54.5	19.8	1.4	196.6

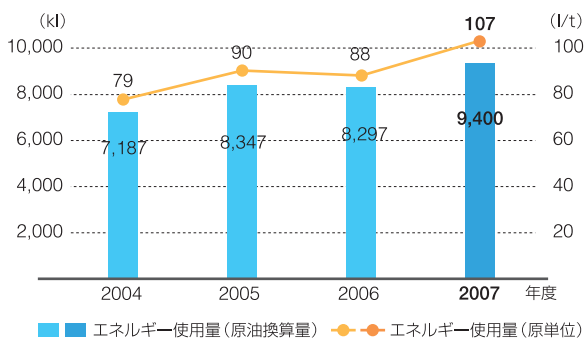
※2003年度は、コージェネレーション設備を導入しました。  
※2007年度は、省エネのために太陽光自家発電装置を設置しました。

## 環境保全効果

那須事業所の廃棄物発生量は削減効果が認められましたが、当社トータルとして2007年度の廃棄物発生量は増加しました。エネルギー使用量とともに削減に対する一層の取り組みが必要であると言えます。

### ● エネルギー使用量・原単位の推移

	2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度
エネルギー使用量 (原油換算量) (kl)	7,187	8,347	8,297	9,400
原単位 l/t(生産量)	79	90	88	107



### ● 産業廃棄物の発生量・原単位の推移

	2004 年度	2005 年度	2006 年度	2007 年度
産業廃棄物発生量 (t)	3,531	3,763	3,390	3,689
原単位 kg/t(生産量)	39	40	36	42

